



西脇市議会議長
林 晴信

■ 住民から信頼されると胸を張れる
議会はどれだけあるだろうか
地方議会の最大の課題は住民に信頼されていないことである！

少なくとも議会改革に熱心な議会ほど
そう感じているのではないかと思いま
す。逆いえば熱心ではない議会議員ほど
気が付いていない
というわけです。気
が付いていないど
ろか、そもそも気に
していないのかもしませんが。

全国の地方議会には少なからず、四年
寛太郎議員、会議で一言も発さぬお地蔵
様議員、一般質問ならぬ一般イチャモン
議員等々が見受けられます。議員が不正
をすれば辞職勧告や懲罰などを受けます
が、これら諸氏はなかなか表には出ませ
ん。議会や議員を自覚めさせるには何よ
りも住民が関心を持つことが第一なので
すが、住民は個別の大きな事業に関心を
寄せることはあっても、議会の議論に関
心を寄せることは滅多にないのです。

そのような議会に対しても住民のみなさ
んから発せられる言葉は「議員定数削
減」「議員報酬削減」です。そしてその
声に応じる形で削減した議会のたどり着
いた先に現在があります。「議員のなり
手不足」「無投票選多発」という現実
はどうなのでしょうか。削減の声に応じ

て住民の信頼は戻ったのでしょうか。西
脇市議会も報酬や定数を削減してしまし
たが、削減するにつれ候補者は減り、選
挙は無投票や欠員の結果を生み、住民の
信頼度が高まつたとは到底いえない状況
です。

もちろん、議会改革を旗印に、住民の
信頼を取り戻すために必死になって取組
んでいる議会もあります。しかしこちら
の制度に関心なんて無いので、一足飛び
に信頼回復とは言えない状況です。そし
てそのことが疲弊と徒労感に繋びつき、
「もうヤメよう」といった負のスパイラ
ルに陥る兆しすらあるのが全国の現状で
はないでしょうか。

■ 議会の活動と成果を知つてもらおう

信頼を回復するには議会の活動と成果
を住民に知つてもらわなければなりません
が、どうすればいいのかが第一で

あなたの議会は信頼されていますか？

西脇市議会でも今
年度から市民モニタ
ー制度を創設して

す。成果と言ふのがポイントで、活動内
容を議会広報紙やSNSに掲載すること
はあっても議会活動の成果を掲載するこ
とは稀です。しかし、住民にとって大事
なのは成果なのです。議会から何を政策
提案しようと、どう議決しようと、事業
として執行されるときは市の政策です。
わざわざ「この事業は議会提案です」と
は書いてありませんので、住民が知つ
とはありません。そこをどう住民に知つ
てもうか、こちらがどう見せていくか
の「議会の見せる化」は信頼回復へのキ
ーワードではないかと私は思つています。

対面式からワークショップ形式に変え
た議会報告会は、アンケートの結果が非
常に好意的に変遷してきた例を挙げ、議
会の信頼回復のきっかけになると私はよ
うか。

■ 議会の見せる化・広報広聴マーケティ
ング戦略を練ろう

そこで議会の見せる化としての広報広
聴戦略は重要になってきます。今まで
も議会広報紙に頼るだけでいいのか、S
NS特性ごとの広報戦略は出来ているか
か、情報はどうまで拡散できているかな
どを考えていく必要があります。広聴も
いつどのタイミングで、何をターゲット
にしていくかを考える必要があると思
います。意見交換するにしても定例会前
なのか後なのかでは目的が違ってくるは
ずです。

議会広報のあり方を検討しています。先
日の会議では「いつまで紙媒体に拘つ
いるんだ！世の中はすでにデジタル時代
だ。紙など無くして新しい媒体にシフト
すべきだ！」というお叱りをいたいた
のは80歳代のモニター委員からでした。
また、市民が知りたい内容と議員側が伝
えた内容とのミスマッチなど多くの指
摘を受けました。

現在、議会のあり方を企業の経営品質
にそぞろえて改革しようという動きがあ
ります。同じように議会広報広聴も企業
の広告マーケティング戦略になぞらえた
改革が必要なのではないかと考えます。
企業だと当たり前のマーケティングの技
術を取り入れたものにすれば、より議会
の見せる化が上手く行くのではないか
どうか。

西脇市議会でも年間の参加者総数は60
0人強です。10年続けて60000人、小
さな市町でも15%にしかなりません。さ
らにリピーター参加もありますので、議
会報告会だけで信頼回復を目指すのは数
の上からも難しいことでしょう。